

彩のかがやき

高温対策を実施しましょう！

平成 29 年 7 月 25 日

埼玉県農林部

彩のかがやきの生育状況

高温により生育は早まり、葉色の低下しているほ場が多くみられます。
早植栽培（5月植え）は、穂ばらみ期に入る時期（出穂前15～10日）です。
普通栽培（6月植え）は、幼穂形成期を過ぎた時期（出穂前25～15日）です。

今後の見通し

8月、9月とも気温は高いと予報されており、出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、高温により白未熟粒の発生する危険性が高まります。

対策

1 葉色確認と穂肥

白未熟粒の発生を軽減するために最も重要な対策は、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥の施用です。

「彩のかがやき」の穂肥のラストチャンス

基肥＋追肥体系でも一発肥料体系でも、出穂15～10日前に葉色が4を下回った場合、必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

2 水管理

穂肥施用時期～出穂7日後までは湛水状態を保ち、それ以降は水を入れっぱなしにせず、田に入水したら水口を閉め、自然に落水させる間断かん水を行い根の活力維持に努めましょう。

かけ流しかん水は、用水不足を助長する恐れがあるので絶対にやめましょう。